

横浜国立大学 大学院 副専攻プログラム

地域創造科目

Yokohama National University Graduate minor program
Creative education program about local problems

シラバス 2026
2026 Syllabus

YOKOHAMA

最新の詳細情報は下記サイトをご確認ください。
<https://www.chiki-ct.info/sozo>

オリエンテーション
4月14日(火曜)
12:10-12:50



場所: 建築学棟(N5-3棟) 1F 大会議室

修了者からのメッセージ

Kota OGAWA
小川 康太

環境情報学府 情報環境専攻
情報学プログラム 修了

野村総合研究所 就職



●コア科目: 地域創造論
●専門型関連科目: 神奈川の取り組み技術課題
社会老年学Ⅰ
社会老年学Ⅱ
●実践型関連科目: 地域課題実習
(転倒しない街共創ラボ「こらぼ」)

私は地域課題実習をきっかけに、地域創造科目を履修しました。参加した地域課題実習では、転びやすさを定量化する技術を用いた「誰もが転倒しないまちづくり」を目標にしており、主専攻だけでは学べない高齢者の社会状況やまちづくりの考え方を専門に学びたいという想いがありました。

地域創造科目では、先生との双方向授業に加え、異なる専門分野の学生との議論を通して、多角的な視点や実践的な知識を得られました。履修したことにより、地域課題実習への還元のほか、主専攻の研究における意義やニーズに対する深い理解やモチベーションの向上に繋がりました。

これにより地域に出ることに対する抵抗感が減り、学内外での活動が増えたことで、貴重な経験を数多く得ることができました。地域社会に貢献したい方や新たな視点をしたい方におすすめです。

ブックレット HP (<http://chiki-ct.info>)からダウンロードできます。

地域創造論 Vol.3

～地域はどう変わるか 2010年代から2020年代に向かって～

大学院の副専攻プログラムのコア科目として開講されている「地域創造論」の、2018年から2020年度のテーマは、「地域はどう変わるか 2010年代から2020年代に向かって」でした。本著は、その講義録をまとめたものです。



政策科学と政策形成 小池 治 / 持続可能な都市とモビリティシステム - COI プログラムによる横浜国立大学の取り組み - 有吉 亮・西岡 隆暢 / 都市におけるエネルギーリテラシー 渋谷 忠弘 / フラットで双方向的な世界へ: 「地域間協力(連携)」の構想と取り組み 佐藤 峰・奥井 利幸 / 震災とコミュニティ-大熊町を事例として- 吉原 直樹 / SDGs 未来都市・横浜の挑戦と「ヨコハマ SDGs デザインセンター」のこれから 信時 正人 / 2035年に当たり前に木材のある社会を目指して 井上 博成 / 2020年代に向けた大学と地域~羽沢横浜国大駅開業を前に 高見沢 実 / 2020年代に向けたヘリテージマネジメントの課題 大野 敏 / 地域創造とEBPM~森林の多面的機能を事例に~ 小池 治 / SDGs 達成に向けた県の施策形成 清水 信宏 / 地域経済とまちづくり(ディスカッション) 氏川 恵次・池島 祥文・伊集 守直・志村 真紀 / モビリティ~Maas+デジタル化による地域像+コロナ~ 中村 文彦 / エネルギー環境と都市(ディスカッション) 吉田 聡・野原 卓・田中 稲子 / 新型コロナと都市計画: 「新近郊」論に向かって~新型コロナ感染後の新たな社会を展望する~ 高見沢 実

『地域創造科目』の概要

全体概念

現代社会において、経済格差や教育格差の拡大、工業倫理の低下や環境問題の深刻化など、住民生活の継続や地域社会の存続に支障をきたし始めています。これらの諸課題は複雑に関連しつつ、事態を深刻化させていることから、社会、教育、工学、環境など各視点から諸課題を検討し、人々が安心して豊かな生活を営めるような地域を創造することが求められています。

本プログラムは、複雑で解決困難な地域課題に対して、各専門領域に基盤を持ち理論的に問題を捉えながらも、学際的な課題把握能力を有し、かつ総合的に解決できるような人材を育成するための高度な教育プログラムです。

General overview

In modern society, issues such as the increase of economical and education gaps, decrease in industrial ethics and intensification of environmental problems are beginning to interfere with the sustainability of local residents' lifestyles and continued existence of the local community. These various issues are complexly interwoven with one another, intensifying the situation and as such, need to be investigated from individual aspects such as society, education, engineering, the environment and so forth, in order to create a community in which people can lead rich lives with peace-of-mind.

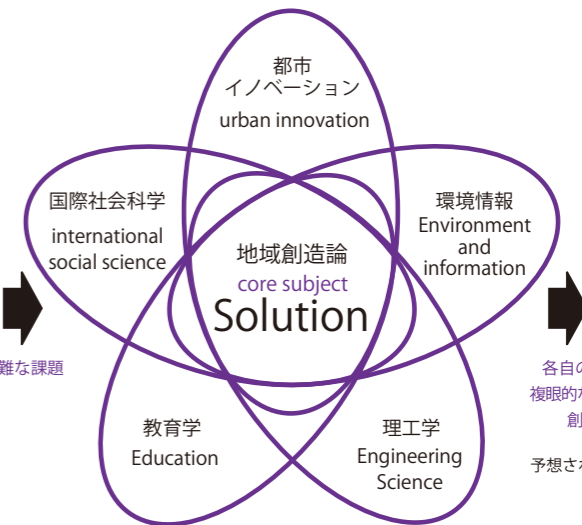
Towards complex, intractable community issues, this program takes a theoretical approach from the individual fields of expertise, and is a sophisticated educational program which aims to produce individuals who possess the ability to appraise issues from an interdisciplinary approach and propose comprehensive solutions.

*副専攻プログラムとは:

知識基盤社会が求める総合性・学際性への対応、また学生からのニーズへの対応として、自ら所属する専攻以外の分野を系統的に学習するプログラムです。

*About minor program:

Responding to the comprehensive and interdisciplinary abilities sought by a knowledge-based society as well as responding students' needs, this program enables the systematic learning of fields other than one's own affiliated major.



地域における複雑で解決困難な課題

各自の専門性を活かしながら、複眼的な視野で地域のビジョンを創造できる力をつける。

- 予想される将来の進路・人材像
- ・国内外 行政関係
 - ・コンサルタント
 - ・建築家
 - ・まちづくり、NPO
 - ・地域プロデューサー
 - ・研究者、教員
 - ・会社経営者

各専門領域に基盤を持ち理論的に問題を捉えながら、学際的に課題把握能力を有し、かつ総合的に解決できる力をつける。

複雑で解決困難な地域課題を題材に

各専門分野の活かし方を発見し開拓するプログラム

This program trains students to find and develop their own specialties in the local subject in which solutions are complicated and difficult.

横浜国立大学 地域連携推進機構 地域実践教育研究センター
Yokohama National University
Organization for Local Collaboration Networking Global-Local Education and Research Center



「履修申請の流れ」

「オリエンテーション」 4月14日（火）12:10-12:50
 対面：建築学棟(N5-3棟) 1F 大会議室

地域創造科目の説明・相談を行います。履修する予定の人、関心・質問がある人は参加して下さい。

詳しくは下記サイトの情報をご確認ください。
<https://www.chiki-ct.info/sozo>

「履修登録」

- ・必修コア科目「地域創造論」
- ・関連科目（各自が在籍する学府・研究科の開講科目から基本的には選択する。*注）

*注：関連科目の履修にあたり、提供形態①の科目については、当該科目担当教員の許可は必要ありません。（ただし、履修者が多い場合は制限する可能性があります。なお、自分が所属する学府・研究科以外の科目を履修する場合は、所属する学府・研究科での手続きが必要な場合があります。（履修案内等で確認してください。）

地域創造科目「参画登録申請」フォームへの申請

申請書×切：4月8~24日 or 10月1~23日

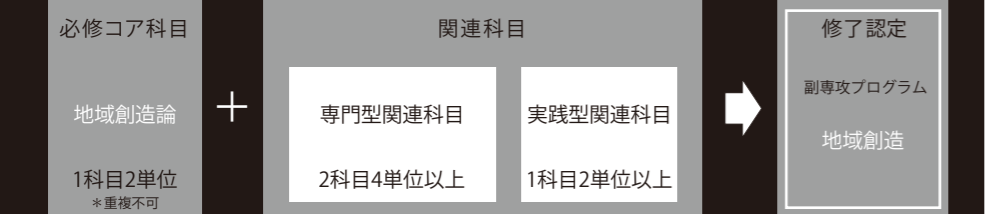
☆副専攻プログラムとして受講し、修了認定を得る場合には、地域創造論が始まる前に下記の申請が必要です。

「参画登録申請」フォームについては、下記の地域実践センターのWEBサイトにリンクされています。
<https://www.chiki-ct.info/sozo>

「地域創造科目」8単位以上

『地域創造科目』は、「参画登録申請」を申請した者を対象に、下記の修了要件を満たした者に対して、修了認定が行なわれます。

修了要件：①必修コア科目「地域創造論」2単位、②「関連科目」の「専門型関連科目」2科目以上4単位以上、および「実践型関連科目」1科目以上2単位以上、これらの合計8単位以上。



- ・主専攻のカリキュラムに掲載されている副専攻科目は主専攻の卒業要件に含むことができます。ただし都市イノベーション学府の学生が「地域創造論」を本副専攻の科目として履修した場合は主専攻の卒業要件に含むことができません。
- ★都市イノベーション学府の学生：修了必要単位 30単位+2単位（地域創造論）=計32単位の取得が必要です。
- ☆教育学研究科の学生：研究科の修了に必要な修得単位数に、地域創造論2単位を含めることができません。
- ☆環境情報学府・国際社会科学府・理工学府・先進実践学環の学生：各学府・学環の修了に必要な修得単位数に、地域創造論2単位を含めることができます。ただし、環境情報と国社においては上限単位数があります。

「修了認定」

- ・副専攻の修了認定は「参画登録申請」を申請した方を対象に、修士課程2年の修了時に修了認定がされます。
- ・必要単位の取得状況は、修了式前の時期に事務局が学務を通じて確認します。
- ・短縮卒業や留年後の卒業、長期履修制度による卒業など、卒業時期が通常と異なる場合には卒業3ヶ月前までに地域実践教育研究センターにお知らせください。
- ・成績証明書の特記事項欄には「副専攻プログラム（地域創造）修了」と記載されます。

・実践型関連科目を「その他」の「独自に参画する実践性の高い活動」で単位認定を受ける場合は、（様式2）地域創造科目 実践型関連科目「その他」認定申請書と、活動内容について記した「レポート（A4版1枚ほど）」の提出が必要です。様式2の申請書はWEBサイトからダウンロードしてください。

レポートの提出 ×切：8/21（9月修了の場合）
 2/12（3月修了の場合）
 *提出先：地域実践教育研究センター（chiki-ct@ynu.ac.jp）

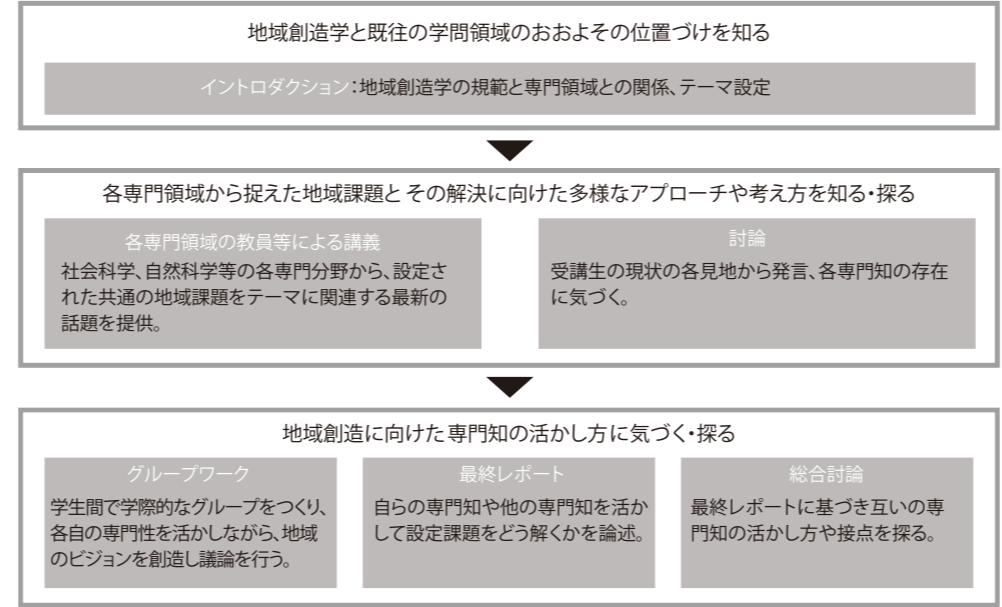
コア科目「地域創造論」

*秋学期に開講
 月曜日 4限
 場所：建築学棟(N5-3棟) 8F スタジオ

1. 授業の目的

複雑で解決困難な地域課題を創造的に解決する方法を開拓する。地域創造学を既往の学問領域の中で位置づけたうえ、本講義の構成・内容、およびグループワークの方法等につき解説する。これを受けて、各専門領域から現代の地域課題をどうとらえているか、また、その解決に向けたアプローチや考え方はいかなるものか等につき、事例や先進的試み等を織り交ぜながら講義する。その後、専門の違う者同士でグループを組み、与えられた地域課題をめぐって現地スタディー、データ分析、ディスカッション等を行う。成果は最終回に発表し、総合討議を行なう。

2. 授業の構成



講義の様子



グループワークの様子

閉講の科目

部局	科目名	単位数	教員名	開講学期	曜日	時限	教室/開催方法	提供形態	カテゴリー	時間割コード	備考
全学	海洋政策と法制特論	2	中原 裕幸	秋期(第4,5)	水	4	清202	①	専	9GC1202	
学	リスクマネジメントと社会技術	2	竹花 立美 他	秋期(第4,5)	金	4	環境1-301	①	専	9GC4101	R8年度以降廃止
都	人文地理学講義Ⅰ	1	池口明子	春期(第1,2)	月	1	教育2研309	①	専	RD00022	
市	人文地理学講義Ⅱ	1	池口明子	春期(第2,3)	月	1	教育2研309	①	専	RD00023	

「地域創造科目」一覧

・カテゴリー：必=必修科目 / 専=専門型関連科目 / 実=実践型関連科目
 ・提供形態：①すべての大学院学生が履修可能な授業科目 / ②すべての大学院学生が履修可能な授業科目であるが、履修するための前提条件が付された授業科目 / ③所属大学院学生のみが履修可能な授業科目

部局	科目名	単位数	教員名	開講学期	曜日	時限	教室/開催方法	提供形態	カテゴリー	時間割コード	備考	
大学院 全学 教育 科目	地域創造論	2	志村 真紀 他	秋期(第4,5)	月	4	建築8F南北スタジオ	①	専	9GC2101	全学教育科目のコード：教育、国社、理工、環境情報に対応	
	持続的海洋管理学Ⅰ	2	鈴木 崇之 他	春期(第1,2)	月	4	環1-315	①	専	9GC1101		
	持続的海洋管理学Ⅱ	2	鈴木 崇之 他	秋期(第4,5)	月	4	環1-315	①	専	9GC1102	<学部4年次履修可>	
	沿岸域管理の法制度	2	加々木 康彦	春期集中	集中		遠隔	①	専	9GC1201		
	リスクベースによる規則制定手法	2	吉田 公一 他	秋期(第4,5)	金	4	教室未定	①	専	9GN1201	<学部4年次履修可>	
	リスクベースによる規則制定手法Ⅰ	1	吉田 公一 他	第4ターム	金	4	教室未定	①	専	UC05023	理工学府所属学生は学府コードを使用	
	リスクベースによる規則制定手法Ⅱ	1	吉田 公一 他	第5ターム	金	4	教室未定	①	専	UC05024	先進実践学環所属学生は学環コードを使用	
	海洋産業特論	2	田村 兼吉	春期(第1,2)	火	4	船舶海洋工学棟303	①	専	9GN1202	<学部4年次履修可>理工学府所属学生は学府コードを使用	
	神奈川県の取り組む技術課題	2	田村 兼吉	春期(第1,2)	火	4	船舶海洋工学棟303	①	専	NA30121	先進実践学環所属学生は学環コードを使用	
		2	為近 恵美	秋期(第4,5)	水	3	理工A101	②	専	9GC3201	理工学府所属学生は学府コードを使用/先進実践学環所属学生は学環コードを使用/理系の素	
		2	為近 恵美	秋期(第4,5)	水	3	理工A101	②	専	N000171	素があることを前提	
		2	為近 恵美	秋期(第4,5)	水	3	理工A101	②	専	UC12015	「水産社会の…」の履修不可	
		水産社会の構築に向けて 一技術と安全一	2	竹花 立美 他	秋期(第4,5)	金	4	教室未定	①	専	9GC4101	
		リスク社会とコミュニケーション	2	熊崎 美枝子	春期(第1,2)	集中		併用(対面系)	①	専	9GC4201	
	教育 国際 社会 科学 理工	地域経済政策特論	2	居城 琢	秋期(第4,5)	水	2	情報教育プラザ	①	専	PAB4015	国際社会科学府所属学生は学府コードを使用/先進実践学環所属学生は学環コードを使用
		2	居城 琢	秋期(第4,5)	水	2	情報教育プラザ	①	専	UC08034		
英語科の教材デザイン論と実践		2	高瀬 祐子 他	第4ターム	水	1~2	1-206	③	専	AX63037		
総合的な学習の理念とカリキュラム		2	金馬 国晴	第4ターム	不定期		2-214	③	専	AX61004	教職大学院所属学生のみ履修可	
特別支援教育コーディネーターの役割と課題		2	重司 敦子 他	第4ターム	月	1~2	テ-206	③	専	AX15001		
地方財政学		2	伊集 守直	春期(第1,2)	火	3	経済30ゼミ室	①	専	PAB4012		
農業政策特論		2	池島 祥文	秋期(第4)	火	1~2	経済30ゼミ室	①	専	PAB4019		
生態会計特論		2	豊 勁	秋期(第4,5)	火	5	C505	③	専	PB22006		
開発協力論研究Ⅱ		2	小林 誉明	秋期(第4,5)	火	4	法102	①	専	PC11024	R8年度開講(偶数年度開講)	
民事訴訟法特論		2	岡庭 幹司	秋期(第4,5)	火	3	法203	①	専	PC12108		
倒産・執行法研究Ⅰ		2	岡庭 幹司	春期(第1,2)	火	3	法101	①	専	PC12520	R8年度不開講(奇数年度開講)	
開発協力論研究Ⅰ		2	小林 誉明	春期(第1,2)	火	4	法102	①	専	PC11023		
演習Ⅰa(対象は特定教員の6クラス)		2	各教員					③	実	—	学府の許可する学生のみ受講可能とする	
演習Ⅰb(対象は特定教員の2クラス)		2	各教員					③	実	—		
理工		リスク分析論	2	陶山 貢市 他	春期(第1,2)	火	3	教室未定	①	専	NB20151	
	触媒化学	2	窪田 好浩	秋期(第4,5)	木	5	教室未定	③	専	NB10031	R8年度不開講(奇数年度開講)	
	エネルギーバリューチェーンシステム概論	2	麦倉 良啓	秋期(第4,5)	金	1	教室未定	①	専	NB20114		
	環境法Ⅰ	1	及川 敬貴	第1ターム	月	2	教室未定	①	専	H320331		
	地域政治経済システム論	1	遠藤 聡	第1ターム	火	2	総S512-3	①	専	H220621		
	地域発展政策論	1	遠藤 聡	第2ターム	火	2	総S512-3	①	専	H220634		
	ユネスコエコパークや観光制度を活用した環境共生型地域の創出	1	酒井 暁子	第2ターム	水	2	理工A102	①	専	H320072		
	ライフサイクルアセスメントⅠ	1	本藤 祐樹	第1ターム	水	2	総S511	①	専	H220011		
	ライフサイクルアセスメントⅡ	1	本藤 祐樹	第2ターム	水	2	総S511	①	専	H220052		
	植物系統分類学	1	倉田 薫子	春期(第2)	集中		教育3研405	①	専	H990111	履修科目「履修希望者はメールにて問合せ先に連絡をください。履修希望者はメールにて10月末までに連絡すること。『生物地理学』は、専攻教育課程科目名。	
	生物地理学Ⅰ	1	倉田 薫子	秋期(第5)	集中		教育3研405	①	専	H990124		
	人工環境演習Ⅰ~Ⅳ	1	遠藤・本藤					③	実	—		
	自然環境演習Ⅰ~Ⅳ	1	下出・及川・佐々木					③	実	—	学府の許可する学生のみ受講可能とする	
	情報環境演習Ⅰ~Ⅳ	1	島 圭介					③	実	—		
	都市 イ ノ ベ	都市居住環境論	2	野原 卓 他	秋期(第4,5)	水	1	都市206	①	専	RC00041	
持続型集住計画論		2	藤岡 泰寛	春期(第1,2)	金	2	建築会議室	①	専	RA00033	R8年度不開講(奇数年度開講)	
越境社会と地域		2	長谷川 健治	秋期(第4,5)	水	4	国際教育106	①	専	RC00061		
グリーンビルディング・コミュニティ計画論		2	田中 稲子 他	秋期(第4,5)	水(隔週)	5~6	都市204	③	専	RC00051		
地域計画論		2	松行 美帆子	春期(第1,2)	水	2	工A-302	①	専	RB00031	R2年度以降入学対象(旧科目：RB00214)	
途上地域発展論		2	藤掛 洋子	秋期(第4,5)	火	3	建築学棟8階	①	専	RB00204	R6入学者以前入学者対象	
開発人類学		2	藤掛 洋子	秋期(第4,5)	火	3	小スタジオ	①	専	RB00022	R7入学者以降入学者対象	
都市交通計画論		2	安部 遼祐	春期(第1,2)	木	3	理工A-302	①	専	RB00033	R4入学者以降入学者対象	
環境都市デザインスタジオ5		4	野原 卓 他	春期(第1,2)	火・金	3~4	都市207	③	実	RPSJ205		
建築理論スタジオ5		4	大野 敏 他	春期(第1,2)	火・金	3~4	建築研スタジオ	③	実	RPSJ203		
建築理論スタジオF		4	大野 敏 他	秋期(第4,5)	その他		建築研スタジオ	③	実	RPSJ204	R7入学者以前入学者対象	
建築理論スタジオF1		4	大野 敏 他	秋期(第4)	その他		建築研スタジオ	③	実		R8入学者以降入学者対象	
建築理論スタジオF2		4	大野 敏 他	秋期(第5)	その他		建築研スタジオ	③	実			
都市基盤スタジオ2		2	細田 暁 他	春期(第1,2)	火	6	教員室/対面	③	実	RPSJ225		
都市基盤スタジオ2		2	細田 暁 他	秋期(第4,5)	火	6	教員室/対面	③	実	RPSJ226	H30年度以降入学対象	
都市基盤スタジオ4	4	細田 暁 他	春期(第1,2)	火	6	教員室/対面	③	実	RPSJ223			
都市基盤スタジオ4	4	細田 暁 他	秋期(第4,5)	火	6	教員室/対面	③	実	RPSJ224			
日本社会史研究Ⅰ	1	多和田雅保	春期(第1)	火	6	教育3研802	①	専	RD00014			
日本社会史研究Ⅱ	1	多和田雅保	春期(第2)	火	6	教育3研802	①	専	RD00015			
日本地域史研究Ⅰ	1	多和田雅保	秋期(第1)	火	6	教育3研802	①	専	RD00019			
日本地域史研究Ⅱ	1	多和田雅保	秋期(第2)	火	6	教育3研802	①	専	RD00020			
神奈川県の漢詩漢文	1	高芝 麻子	春期(第2)	金	3	教育3研603	①	専	RD00018			

※1：独自に参画するボランティアや学部生向けの地域交流科目「地域課題実習」のプロジェクトのマネジメント等の実践性の高い活動については、審査の上、当プログラム上のみ独自認定（2単位相当）する。ただし、正規単位ではない。